

オンライン開催

# 広島大学病院 がん医療従事者研修会

広島大学病院では、がん診療の質の向上及び専門的な知識の普及を目的とし、がん医療に携わる医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修を以下のとおり開催いたします。

## 講演1

### 「がんにおけるチーム医療と薬剤師の役割について考える」



広島大学病院 薬剤部

櫻下 弘志 先生

がん患者は多彩な病態だけではなく、治療次第で予後に関連します。がん治療が高度に専門化や複雑化し、今までの抗がん薬と作用機序が異なる分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤が登場し、高度な専門知識や技能や経験を持つ医療スタッフがチームとして治療にあたらなければなりません。チーム医療の実践において、院内のirAE対策チームに関わり、また薬剤師外来を展開し、医師のタスク・シフト/シェアの推進についても取り組みを行っています。今回、取り組みを紹介しながら、今後の薬剤師業務について議論してゆきたいと考えております。

## 講演2 「がん薬物療法における薬剤師の役割

### ～薬剤師の地域医療連携・抗がん薬治療の生殖機能への影響を考える～」



国立がん研究センター東病院 薬剤部

副薬剤部長/日本臨床腫瘍薬学会 副理事長

米村 雅人 先生

がん薬物療法をおこなう上では、病院内における治療の提供、患者フォローアップだけではなく、保険薬局における経口抗がん薬の適切な交付やフォローアップも重要です。よって、がん薬物療法を成功させるには、医療機関内の多職種連携に加え、保険薬局等との地域医療連携も重要になります。今般、厚生労働省の委託事業として「薬局における対人業務ガイドライン(案)作成」を進めており、がん薬物療法における連携の在り方について一緒に考えたい。また、小児～AYA世代がん患者支援が注目される中、がん治療における妊孕性温存にも関心が集まっています。抗がん薬治療の生殖機能への影響について、薬剤師及びメディカルスタッフが備えるべき知識・情報・考え方・介入のあり方等についても共に考えたい。

開催日時 ▶ 2024年1月12日(金)18:30～20:00(予定)

開催方法 ▶ Zoomによるオンライン受講

## 【申込方法】

QRコードを読み取り、申込フォームに入力後送信してください

※申込締切 12月28日(水) 17:00 要申込



お問い合わせ先：広島大学病院 医療支援グループ TEL 082-257-5934

(主催) 広島大学病院 (都道府県がん診療連携拠点病院)

(共催) 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム/広島大学次世代のがんプロフェッショナル養成プラン